

京都精華大学 教育後援会 2024 年度 第 3 回役員会 議事録

開催日時：2025 年 3 月 20 日（木・祝）13 時半～14 時 20 分

開催場所：H-417 会議室、オンライン

役員出席者：

（会長）塩路 有紀、（副会長）井上 孝晴、（会計）小林美智子、（監事）椋本 千鶴子、（以下、学部幹事）久保園 順子、兒玉 修一、小林 江美子（オンライン参加、学部幹事）佐々木 潤子、松本 高志、高木 隆次、小栗 幹大

役員欠席者：

（監事）篠崎 聡

本学出席者：

（学長・教育後援会顧問）澤田 昌人、（教務部長）恩地 典雄、（学生部長）田村 有香、（教学グループ長）下田 啓真、（学生グループ長）山元 英昌、（経営企画グループ長）飯澤 ちあき、（経営企画グループ）加藤 由佳、若林 麻由佳

本学欠席者：

（副学長）三河 かおり、森原 規行

記録：

（経営企画グループ）若林 麻由佳

報告事項

1. 2024 年度活動総括

事務局から、2024 年度教育後援会活動の実施内容について報告があった。

2. 2024 年度役員退任者

事務局から、2024 年度で退任される役員について報告があった。

議事事項

1. 2025 年度役員会体制案

事務局から、2025 年度の教育後援会役員会の体制について、役員就任継続となる現役員 8 名に加え、新入生保護者から 4 月に新役員を募集することが説明され、承認された。

2. 2025 年度教育後援会活動案

事務局から、2025 年度の教育後援会の活動（役員会、総会、教育懇談会、懇親事業）に

ついて資料に基づき、案があった。審議の結果、承認された。

3. 2025 年度寄付事業案

事務局から、2025 年度の寄付事業の金額について資料に基づき、説明があった。審議の結果、承認された。

役員より、キャリア支援活動への賛助に関して、どのような外国人留学生就職支援を行っているのか、と質問があった。

学生グループ長より、留学生の就職に関する対面またはオンラインでの相談、企業の紹介、セミナーの開催等を行っており、これらの支援は、留学生の就労支援に特化している会社に業務委託している、と説明があった。

塩路会長から、全議事の終了が述べられた。

4. その他

塩路会長から澤田学長に、2024 年度寄付金の目録が贈呈された。

澤田学長から、資料に基づき、大学の中期計画策定について、教育後援会の役員からも未来の京都精華大学のあり方について、広く意見をお聴きしたいとの要望が述べられ、役員から以下の意見と返答があった。

- ・今後、中学校の部活動が地域主体のものへ移行するため、美術・芸術分野の活動を希望する学生の受け入れや支援に大学が関わるできないか。
→中学の部活動がなくなること、芸術系大学への志願者の減少に繋がりがねないため、中学校や高等学校との連携を深め、芸術系を志望する学生の支えとなる活動をしたい。
- ・京都精華大学らしく、自由な研究や教育が維持される大学であってほしい。
- ・教育内容は素晴らしいのに、大学の魅力が全国的には、十分に周知されていないと感じる。芸術や美術を志望している学生だけでなく、それ以外の学生や民間人への大学の知名度も向上させてほしい。
- ・京都精華大学といえば、「芸術・マンガ」というイメージが先行しているため、人文学部の知名度向上にも力を入れてほしい。
- ・京都精華大学独自の教育内容や研究活動を周知し、他の芸術系大学との差別化を図ってはどうか。

最後に、出席された退任役員の方へ感謝状・記念品を贈呈し、一言ずつご挨拶をいただき、閉会した。

以上